

## 主要な法要のスケジュール

### 仏式

命日からの日数	名称	書き込み欄	備考
7日目	初七日	年 月 日	僧侶、親族、友人を招きます。最近は葬儀の日に繰り上げて行うことが多くなっています。
35日目	五七日・三十五日	年 月 日	僧侶、親族、友人を招いて法要を行います。
49日目	七七日・四十九日・満中陰	年 月 日	僧侶、親族、友人を招いて忌明け法要を行います。百ヶ日法要と兼ねることもあります。
100日目	百ヶ日	年 月 日	僧侶を招いて度胸をしてもらいます。四十九日と同時に行うことが多くなっています。
1年目の祥月命日	一周忌	年 月 日	僧侶、親族、有事などを招いて、比較的盛大に行われます。
2年目の祥月命日	三回忌	年 月 日	一般的には三回忌まで親族を呼ぶ場合が多いです。これから3年目を迎えるので三回忌と言います。

※祥月命日とは、亡くなった月日を言います。

### 神式(霊祭)

命日からの日数	名称	書き込み欄	備考
葬儀翌日	翌日祭	年 月 日	近年で省略されることが多くなっている。
10日目	十日祭	年 月 日	仏式の初七日にあたります。親族、知人を招き、神職による祭儀を行います。
30日目	三十日祭	年 月 日	仏式の三十五日にあたります。団扇で営まれることが多い。
50日目	五十日祭	年 月 日	五十日祭の翌日におこない、神棚や祖霊舎「仏教でいう仏壇」の白紙をとり、これで忌明けとなります。
五十日祭の翌日	清祓(ふうせつ)の祭	年 月 日	忌明けとなる霊祭で、仏教の四十九日と同じように、神職、親族友人などを招いて祭儀を執り行います。 葬儀の当日返し以外の香典返しや、忌明けの挨拶状送付はこの時期に行います。 清祓の儀の後、合肥祭で亡くなった人の霊璽(れいじ)「仏教でいうところの位牌」を祖霊舎に祀ります。
100日目	百日祭	年 月 日	神職、親族、友人などを招いて葬儀を執り行います。
1年目	弔年祭(一年祭)	年 月 日	以後、二年祭、三年祭、五年祭、十年祭、二十年祭、三十年祭、四十年祭、五十年祭、百年祭が行われます。

### キリスト式(カトリック式)

命日からの日数	名称	書き込み欄	備考
3日目	追悼ミサ	年 月 日	追悼ミサには、親族、近親者、友人、知人が参列します。
7日目	追悼ミサ	年 月 日	追悼ミサには、親族、近親者、友人、知人が参列します。
30日目	追悼ミサ	年 月 日	追悼ミサには、親族、近親者、友人、知人が参列します。
1年目	使者記念のミサ	年 月 日	その後、3年、5年、7年や区切りの良い10年目などに行っているようです。
毎年	オール・ソウルズ・デー(万霊祭)	年 月 日	キリスト教で、この世を去ったすべての信徒を記念する日。

※最近では、3日目・7日目の追悼ミサを省略することもあります。

### キリスト式(プロテスタント)

命日からの日数	名称	書き込み欄	備考
1ヶ月目	記念祭(昇天記念式)	年 月 日	教会、墓前、自宅などで牧師、近親者や友人、知人を招いて記念の集いを執り行います。
1年目	記念祭	年 月 日	特に決まりはないようです。